

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 4年 4月 1日

事業所名 進学&就職支援あなたが宝モノ岸和田沼町教室



事業所による自己評価の令和3年度の結果を公表します。  
自己評価結果や保護者等アンケート結果をもとに支援の資質向上に努めていきます。  
これからも進学&就職支援あなたが宝モノをどうぞよろしくお願いいたします。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	83%	17%	法令を遵守しています。お子様の成長やプログラムの変化に合わせて、パーティションを用いて指導訓練室のスペースを変化させています。	
	2 職員の配置数は適切であるか	100%	0%	法令を遵守しています。また、法令の配置数に加えて、常勤換算で児童指導員等を1名以上と機能訓練担当職員を配置し、より行き届いた対応をすることを心がけています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	67%	33%	ルール等を掲示することで、ご利用者様にわかりやすい環境づくりを心掛けています。教室の立地がビルの2階になります。現状では、エレベーターの設置は難しいため、補助が必要な場合は、スタッフが対応いたします。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%	0%	毎日消毒チェックシートに基づいて、消毒・清掃を実施しています。また夜間にノックスによる空間除菌を行っています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	0%	主に、個別支援計画の作成にあたり、PDCAサイクルにのっとり、職員が参画しております。また支援計画を更新した際は、スタッフ全員に計画の共有をしています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	今後も定期的にアンケート調査を実施し、よりよい評価を頂けるよう、業務改善につなげていくよう努めます。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	事業所向け並びに保護者様向け評価を実施し、結果による支援の質の評価及び改善の内容をHP、ブログ、SNS等で公開します。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100%	0%	コンサルティング会社と提携し、常にご利用者様にとって何が最善の療育となるかを考え業務内容の評価と改善策の提案を受けています。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	83%	17%	新人研修はおよそ一か月の座学と実地訓練を含めた研修を行っています。また、その後も定期的に研修、模擬授業等を行い、資質向上に努めています。今後は教室の特色に合った研修の機会を確保し、より向上できることを目指します。	
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	必要に応じてモニタリングを行い、支援計画の更新前にはアセスメントを行うことで、お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、サービス計画を作成しています。	

## 適切な支援の提供

11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	事業所でのルールやシステム化されたプログラムの中で、現状把握に努めています。
12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容を設定しています。
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	月に1回プログラム作成会議を実施し、支援計画の内容をスタッフ間で共有し、計画に基づいた教材を作成しています。また支援開始前の打合せ時に計画を確認する取り組みや、日報に支援計画に関する気づきを記録し計画に沿った支援が行えているかの振り返りを通して、計画に沿った支援が行えるように心がけています。
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	83%	17%	利用者様の支援計画に基づき、全スタッフでプログラム作成会議や模擬を行い、療育内容を共有した上で、日々の活動プログラムを立案しています。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	月ごとに設定したスケジュールに沿って、プログラムを実施しています。また、スタッフ間での情報共有をしながら、療育内容に細やかな変化を加えています。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	83%	17%	聞き取った個々の状況・課題に合わせて、検討を行い、集団活動の中で、適切な療育が行えるよう放課後等デイサービス計画を作成しています。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	毎日の進行表を元に、プログラムの内容、それぞれの役割、来所する子ども達を確認し合っています。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	送迎や記録で時間がとれないため翌日の支援開始前に行っていますが、毎日振り返りを行うことで療育内容や支援方法に関する気づきを共有し、次の支援に引き継いでいます。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	その日の療育内容や気づき、次回への引継ぎなどを日報に記録することを徹底し、より良い療育の提供に繋がっています。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	個別支援計画に基づき、定期的にモニタリングを実施し、ニーズ・課題の見直しの必要性を日々の日報を通して判断しています。
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	教室長または児童発達支援管理責任者が参画しています。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%	0%	市役所、保健センター、相談支援事業所に不定期に訪問し連携を取っています。
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	83%	17%	医療的ケアが必要なお子様のご利用に備えて医療機関と連絡体制を整えています。

24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	83%	17%	医療的ケアが必要なお子様のご利用に備えて医療機関と連絡体制を整えています。
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	67%	33%	児童発達支援のご利用者様が高校生のため実施しておりませんが、進学される場合できる限り担当者会議を行い関係機関で連携をとれるようにしています。
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	67%	33%	児童発達支援のご利用者様が高校生のため実施しておりませんが、進学される場合できる限り担当者会議を行い関係機関で連携をとれるようにしています。
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	67%	33%	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関が企画・開催している研修に積極的に参加し、また訪問する事で連携をとっていきます。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	17%	83%	事業所内での療育の質を高めることを重点的に取り組んできたため、なかなか外出や交流ができておりませんが、今後、必要に応じて外出や障害のない子どもとの交流の機会を作っていきます。
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	33%	67%	協議会等の会議やイベントに参加できる機会があれば、積極的に参加していきます。
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	送迎の際や電話、連絡帳、メール、LINEなどで日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持つよう努めています。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	50%	50%	相談のあった保護者には積極的に行っています。また外部講師を招いたセミナーを年2回ほど企画し保護者の方にご参加いただきご家庭での支援に役立ててもらっています。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	療育説明会での支援内容のご説明と同時に、ご契約前には運営規定並びに利用者負担について丁寧に説明しています。
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%	保護者のご同意を得ています。今後さらに支援内容と支援計画を保護者と深く共有するため、支援計画を示しながら同時に療育成果報告と今後の課題と方針を説明する面談をしていきます。
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	電話、連絡帳、メール、LINE等でいつでも相談できる環境を構築しており、日々の保護者からの子育ての悩み等の相談に対応しています。今後、さらに保護者が相談しやすい環境を作るため、定期的なアセスメントや面談を行います。
35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0%	100%	本年度はコロナの影響もあり保護者会等を開催することができませんでした。次年度は保護者同士の連携を支援できるよう努めて参ります。
36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	随時、電話・連絡帳・メール・LINE等で相談や申し入れについて対応の体制を整備しております。また、相談窓口を設けており、そのことは周知しています。相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しています。

責任等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	毎月活動内容を載せた宝モノ通信を保護者向けに発行しています。その他にLINE、HP、ブログ、Facebook等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	83%	17%	個人情報の管理についてご指摘を受けることがありました。今は個人情報はすべて職員スペースに保管し、不要な個人情報の書類はすぐにシュレッダーで破棄するようにして、個人情報の取り扱いに細心の注意を払います。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	子どもには視覚情報を多用して意思疎通できるようにしています。保護者との意思疎通ツールとしてLINEなどできるだけ視覚的に記憶・記録に残るツールの使用を心がけています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	50%	50%	各市町村の教育委員会のご後援をいただき、「保護者のための子育てに関する講演会」を開催し、オンライン上ではありますが、100名あまりの地域の方々にご参加いただくイベントを本年度は2回開催しました。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%	0%	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員に周知しています。新型コロナ感染に伴い保護者様にもご理解とご協力をいただきました。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	地震・火災に備え療育時間中に避難訓練を毎月行っております。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	83%	17%	入会時に事前調査票に記入していただいた情報と面談を元に服薬や予防接種、てんかん発作等の有無を把握しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	入会時に事前調査票に記入していただいた情報と面談を元に食物アレルギーの有無を把握し、主治医の指示書がある場合はそれに基づいた対応をしています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	ヒヤリハット事例集を作成して共有し、事故防止に努めています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	67%	33%	岸和田市が開催している虐待防止セミナー等に職員が参加し継続的に研修をしています。今後は参加した職員を通してスタッフにも内容が広く共有できるようにしていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	67%	33%	現状、そのようなお子様はいませんが、どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子様や保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載する仕組みを構築しています。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。